

## **「2020年度 グッドデザイン賞」「令和元年度全建賞」をダブル受賞**

### **白川河川激甚災害対策特別緊急事業（龍神橋～小碓橋間）**

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）がデザインと設計に関わった白川河川激甚災害対策特別緊急事業（龍神橋～小碓橋間）が、このたび2020年度グッドデザイン賞（分類：ランドスケープ、土木・構造物、主催：公益財団法人日本デザイン振興会）と令和元年度全建賞（河川部門《災害復旧・復興事業特別枠》、主催：全日本建設技術協会）を受賞いたしました。

〔白川河川激甚災害対策特別緊急事業（龍神橋～小碓橋間）〕は、平成24年7月の九州北部豪雨を契機に再度災害の防止・軽減を目的とした事業です。環境・景観・利活用に配慮した整備を進めるため、計画から施工に至る各段階で官学民が連携し、令和2年1月にしゅん工しました。

弊社では、今後も事前防災や災害復旧・復興の防災事業と、歴史・文化を融合した地域振興とが両立する良質な公共空間創出の提供を目指し、国内外で社会に貢献する様々な事業展開を積極的に進めていく方針です。

#### グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



#### 全建賞とは

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

※写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
URL: <https://www.oriconsul.com/>  
統括本部 宮内、丸山

## 2020年度 グッドデザイン賞 《分類：ランドスケープ、土木・構造物》

- 受賞対象名：河川堤防・河川緑地〔白川河川激甚災害対策特別緊急事業（龍神橋～小碓橋間）〕
- 事業主体名：国土交通省

□ 概要：平成24年7月の豪雨災害を受け、白川の龍神橋から小碓橋の区間では約5年かけて堤防整備を行った。治水に重きが置かれた河川激甚災害対策特別緊急事業において、河川環境の変化を最小限に抑え、地域住民が日常的に利用できる河川空間を目指した。日常的に川に触れ合うことができる整備を行うことで、非常時の防災意識を高めることを目指した。

- グッドデザイン賞審査委員による評価コメント：

豪雨災害を受けた河川の堤防整備。広域の区間を短期で工事しなければならない激甚災害対策特別緊急事業の制約の中で、一般的な材料を用いながらも、場所場所に応じたまちと川をつなぐ空間づくりをしていることが評価された。近年、水辺を活かしたまちづくりが進められる反面、自然災害の激甚化によって深刻な水害が増えているなかで、日常を豊かなものにしながら住民の災害意識を高める堤防整備はひとつのモデルとなるだろう。

- URL <https://www.g-mark.org/award/describe/51039?token=86if2Hmpvj>

## 令和元年度全建賞受賞事業《災害復旧・復興事業特別枠》【河川部門】

- 受賞対象名：白川河川激甚災害対策特別緊急事業（子飼・宇留毛・渡鹿地区）
- 授賞機関：国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所
- 全建賞審査委員会の評価ポイント：

平成24年九州北部豪雨により水害が発生した熊本市において、行政・住民・企業・学識者とのパートナーシップをもって、激甚災害対策特別緊急事業を推進した取組み。良好な景観形成の実現、地域の活性化にも寄与しており、パートナーシップをもったプロセスを重視して事業を進めた点が評価された。

- URL <https://www.zenken.com/hypusyou/zenkensyou/r01/P75.pdf>

